



南町小だより

つよく かしこく あたたかく ～ ありがとうを とどけます ～

各調査結果お知らせ号

練馬区立南町小学校

令和5年12月11日

校長 星 美 登 里

令和5年度全国学力・学習状況調査と新体力テストの結果について概要をお知らせいたします。

1 全国学力・学習状況調査 (令和5年4月実施 対象：6年生)

※表中の枠囲みの数値は、全国および東京都の双方の平均よりも、正答率が高い傾向にあるものです。

※表中の太字、斜字のものは、全国および東京都の双方の平均よりも、正答率が低い傾向にあるものです。

※本文中に記載の単位「%Pt」は、「パーセントポイント」の略です。

【国語】

平均 正答率 単位 [%]	学習指導要領の内容						評価の観点			全体
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に取り組む態 度	
	言語の 特徴や 使い方 に関する 事項	情報の扱 い方に 関する 事項	我が国 の言語 文化に 関する 事項	話す こと・ 聞く こと	書く こと	読む こと				
校内	70.5	70.0		64.8	27.3	69.1	70.4	67.3		66.0
東京都	73.6	66.5		73.5	28.9	73.2	71.6	67.0		69.0
全国	71.2	63.4		72.6	26.7	71.2	68.9	65.5		67.2

国語全体の正答率は66.0%で、これは都平均よりも3.0%Pt下回っています。

「情報の扱い方に関する事項」については全国と都平均よりも上回っています。他教科も含め図表や複数の情報との関連から読み取る学習をすすめていることが成果として表れています。しかし、「話すこと・聞くこと」では8.7%Pt、「読むこと」では4.1%Pt、「思考・判断・表現」では5.7%Pt都平均を下回りました。登場人物の行動や気持ちについて叙述を基に捉え、自分の考えを伝えること、他者の考えと自分の考えを対比することが課題です。ホワイトボードやタブレット端末のまなびポケットなどを活用し、ペアや小グループで自分の考えを伝え、他者の考えを聞く授業を更に充実するよう努めていきます。

また意識調査については、「国語の勉強は好きですか」の問いに、肯定的な児童が都平均よりも5.3%Pt上回る一方で、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いには、肯定的な児童が都平均よりも5.8%Pt下回っています。言葉が相手との好ましい関係をつくる働きがあると学べていないと感じている児童も多く、モジュールや読書の取組の充実を図り、国語の授業の中で語彙を増やし、表現力を磨き、そのことが人との関係を豊かにし、将来必要なことを感じ取れるように指導していきます。

【算数】

平均 正答率 単位[%]	学習指導要領の領域					評価の観点			全体
	数と 計算	図形	測定	変化と 関係	データの 活用	知識・ 技能	思考・判 断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
校内	70.6	47.7		77.3	68.5	68.1	62.6		66.0
東京都	71.0	54.8		75.8	67.3	71.5	61.2		67.0
全国	67.3	48.2		70.9	65.5	67.2	56.5		62.5

算数全体の正答率は66.0%で、これは都平均よりも1.0%Pt下回っています。

「変化と関係」領域では1.5%Pt、「データの活用」領域については1.2%Pt、都平均より上回っています。日々の授業で問題文に出てくる数値を図や表に表す習慣がついていることが成果として挙げられます。しかし、「図形」領域では、都平均より7.1%Ptも下回っています。定規やコンパス、分度器などの教具の操作に慣れ、十分に使えるように他教科においてもこれらを活用する機会を増やすとともに、立体の学習では、できる限り展開図などから形を作らせるなど体験型の授業にも力を入れていきます。

また、意識調査については、「算数の授業の内容はよく分かりますか」の問いに、肯定的な児童が都平均より7.8%Pt上回っているのに対し、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに、肯定的な児童が都平均より7.2%Pt下回っています。電子黒板上でのデジタル教科書の活用や図を書かせることなどで視覚的に数量関係などが捉えやすい授業を展開できているが、教科書の問題を解いて学習が終わってしまっていることが考えられます。児童にとって身近な数値を用いたり、測定しやすいものを測定したりするなど日々の生活と算数の内容が結び付けて考えられるような授業を展開するように努めます。

2 新体力テスト（令和5年6月実施 対象：全学年）

※数値は、上段が各学年男女別の本校児童の、下段が練馬区の平均値です。

※**枠囲みの数値**が、全国および東京都の双方の平均よりも、上回ったものです。

※**太字、斜字の数値**が、全国および東京都のどちらかの平均よりも、低い傾向にあるものです。

実施項目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20Mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
単位	[kg]	[回]	[cm]	[回]	[回]	[秒]	[cm]	[m]
1年男子	9.1	11.8	22.8	24.9	19.5	11.8	112.8	7.3
	8.8	10.9	25.7	26.5	16.9	11.5	112.7	7.2
1年女子	8.7	11.9	23.6	22.5	14.2	11.9	107.0	4.5
	8.1	10.3	28.2	25.3	13.4	11.9	103.0	4.9
2年男子	11.0	14.3	24.1	30.6	23.2	10.6	124.3	11.0
	10.5	13.8	27.4	30.0	25.0	10.6	122.3	10.3
2年女子	10.1	12.5	27.1	28.5	15.3	11.1	115.2	5.7
	9.9	13.1	30.4	28.7	18.8	11.0	113.9	6.7
3年男子	12.8	14.8	31.1	32.2	31.8	10.4	130.4	12.0
	12.1	15.5	29.6	33.1	31.6	10.1	131.7	13.3
3年女子	13.5	15.4	35.7	32.7	27.5	10.4	127.8	8.0
	11.5	14.8	33.1	30.9	22.6	10.5	123.1	8.4
4年男子	15.0	17.1	29.6	34.5	37.3	9.9	136.2	16.1
	13.9	17.3	31.1	36.4	38.2	9.6	141.0	16.4
4年女子	16.4	19.5	42.1	36.2	31.0	9.8	143.2	10.8
	13.4	16.4	35.5	34.4	27.4	10.0	133.3	10.4
5年男子	17.9	22.0	32.0	41.9	48.6	9.3	158.6	21.5
	16.0	19.3	33.9	40.3	45.6	9.3	149.9	19.9
5年女子	16.4	19.1	41.5	40.2	36.1	9.8	145.1	11.2
	16.0	18.5	38.6	38.6	33.6	9.6	142.5	12.3
6年男子	20.1	22.2	40.3	44.7	52.1	9.4	168.5	25.1
	18.8	21.0	36.4	43.7	53.0	8.9	161.5	22.9
6年女子	17.8	19.3	44.4	42.2	35.2	9.5	153.6	14.1
	18.9	19.5	41.8	41.0	38.0	9.2	151.4	13.9

◇傾向の分析

- ・全体的に握力や上体起こし(筋力)は、全国や東京都平均よりも高い傾向にあります。握力は体育朝会で筋力向上のためのトレーニングを重ねたこと、上体起こしについては姿勢の保持について指導したことが成果として考えられます。
- ・長座体前屈(柔軟性)は、全国や東京都平均より高学年では高く、低学年では低い傾向にあります。
- ・全体的に、反復横跳び(敏捷性)、20Mシャトルラン(持久力)、立ち幅跳び(跳躍力)、ソフトボール投げ(投球力)が、全国や東京都平均よりも低い傾向にあります。それぞれの運動をする際の体の使い方が分からなかったり、体幹が弱いために運動が継続できなかつたりすることが考えられます。外遊びなど、日常生活の中で体を動かす機会が少ないために、体力全般において低下傾向にある児童もいると考えられます。

◇今後の取組

- ・各学年の体育科の学習において、柔軟性や敏捷性、跳躍力等を養う体づくりの運動を取り入れることを継続します。
- ・全校で取り組んでいる、持久走、縄跳びなど、一定時間筋肉を動かす運動を継続していきます。
- ・自分の体を思い通りに動かせるようになることを目指し、コオディネーショントレーニングを体育朝会で児童に紹介します。ゲーム感覚で楽しく体を動かす中で、動きを素早く切り替えたり、スムーズに体を動かしたりする能力や、姿勢を保持するためのバランス能力、体をリズムカルに動かす能力の更なる向上を図ります。
- ・ボール運動では、低学年から投げる動きを多用できるよう準備運動やルール作りで指導方法や教具の改善を図ります。